

令和元年 11月16日

学びの広場

京都市教育委員会 教員養成支援室


第1回教育実践特別公開講座 講師：京都市教育相談総合センター 池田 忠 参与
「子どものいのちを守りきるための教師の責務」

11月2日（土）の午前に、初めての教育実践特別公開講座を行いました。この講座は喫緊の教育課題について学ぶ講座で、京都市の教員に採用が内定している方の研修にも位置付けています。その中には来年度から教壇に立つ卒塾生も多くいました。塾生と卒塾生が第14期教師塾の学びの場で共に高め合っている姿は、大変感慨深いものでした。

今回は、京都市教育相談総合センターの池田忠参与にお越しいただき、児童・生徒の現状やこれからの生徒指導等についてお話しいただきました。事例をもとにした話し合いでは、隣どうして真剣に学び合う姿が見られました。いじめはどの学校にも、どの子どもにも起こり得ることであり、だからこそ教師は常にアンテナを張り、感度を高くしておくことが大切だと強くおっしゃいました。いじめ防止対策推進法で規定する「重大事態」を引き起こさないよう、実際に担任になった時のことを想定し、今のうちから胸に留めておきたいものです。


第2回京都市教育学講座 講師：若手教員6名
「教師の喜びと厳しさ」


午後からは、京都市の小学校、中学校、高等学校、総合支援学校で、また小学校の養護教諭、栄養教諭として活躍されている先輩6名に来てもらい、現場の生の声を届けていただきました。

「教師にとって大切だと思うことは？」の問いに、小学校の先生は「自分自身と向き合うこと、忍耐力」、中学校の先生は「目の前にいる一人一人の生徒を徹底的に大切にすること」、高等学校の先生は「生徒の限界を教師が決めないこと」を伝えてくださいました。また、総合支援学校の先生は「自分の意見をしっかり持ち、行動すること」、小学校養護の先生は「自分自身が健康でいること、子どもの話をしっかり聞くこと」、小学校栄養の先生は「時間やきまりを守り、信頼される教師になること」とおっしゃっていました。厳しさやしんどさがたくさんあるにも関わらず、子ども達の成長を間近で見ている先生方の表情はとても生き生きとしておられるように感じたのではないのでしょうか。

分散会では「あなたのなりたい教師像は？」をテーマに、自分が児童・生徒だった時のエピソードを交えながら、また、今感じている不安や悩みなども出し合いながら、なりたい教師像について話し合いました。各分散会場をまわってくださったパネリストの先生に積極的に質問する姿も見られました。



2組



第2回京都市教育学講座【講義】

「教師の喜びと厳しさ」を受講して



1 全体会

6人の先生方から教師の喜び、厳しさを学んだ。私は小学校の先生を目指しているが、違う校種・職種の先生方のお話もとても参考になった。特に、佐藤先生の「軸をもつ」というお話で、私にとって大切にしたい軸とは何だろうと考えさせられた。どの先生方も「子どもの成長」に喜び、時には悩みながら日々接していらっしやるのが伝わってきた。子どもたちの成長は一人一人違うスピードで、時にはじっくりと向き合うこともあり大変だが、子どもが変わっていく所を見られる教師という職業は、やはりやりがいを感じられる素晴らしい職業だと思った。

2 分散会

私と班になった人たちは、講師の方と2回生の方だった。年齢や経験がばらばらでも、思いを伝え合うことはとても楽しく、深い学びになった。私は、前に立って思いを伝えることが苦手なので、変わっていきたいという話をした時に、班の方が「発表してみたら?」「とてもよかった! ナイスチャレンジ!」と言ってくれて、とても成長できた時間になった。今日は2回も前で発言できた。やってみたい、チャレンジしてみたいと思ってそれを実現すると、とてもすっきりとして達成感を感じられる。子どもたちに「チャレンジしよう!」という気持ちを持って欲しいと願うなら、まずは自分が変わっていかないといけないと思った。今日は、少し一歩を踏み出せた日で、まわりの人の支えがあり、伝えるのが楽しいと思えた日になった。まとめでは、谷口先生の経験されたお話が、先生自身の教育に対する熱い気持ちとして伝わってきた。思いは言葉だけではなく、表情や行動に表れるのだと思う。子どもたちの前でも、言葉だけではなく、伝える姿勢を大切にしたい。

3 まとめ

私の軸は何だろうと考えたり、自分は先生として子どもたちにどんなことを伝えられるだろうかと悩んだり、辛いこともたくさんあるが、前向きに楽しんで、自分が先生になった時の姿を想像できるようにしたい。不安な気持ちは一人で抱え込まなくてもいいのだ、安心して思いを伝えられる場が教師塾にはあるのだと思った。受け止めてくれる仲間がいることはとても安心するし、自分も先生である前にそんな人でありたいと思った。毎回、問いを立てるのが難しいと考えていたが、いろいろな人と話し合う中で、まずは行動しよう、やってみようと思い、今日実践できてとても嬉しい。成長を感じた。

教師は、目の前の子どもたち一人一人をしっかりと把握して、個に応じた成長を楽しみにできる素晴らしい職業です。そして何より、その成長に関われること。出会った先生により、さらに子どもの力を伸ばすことができるのが教師ですから。

勇気を出して頑張った1日でしたね。「まずは自分から」です。その考えはとても大切に素晴らしい一歩です。「先生になった時の姿」「どんな先生になりたいのか」と、いろいろと悩んで迷って考えていきましょう。そうしていく中で「自分の軸」が確立されていきます。応援していますよ!

補講(11/5)の様子



夜間にもかかわらず、熱心に協議を進めていました。

